

## 第55回 サヨリとサヨリヤドリムシ

カコちゃん かほくがたチルドレン

ヒロ



サヨリ、細魚とか針魚といった漢字が当てられますが、その通りの細長い魚です。サンマとよく似た体型をしていますが、サンマよりも下顎が遙かに長く突き出しています。この特徴で他の魚と間違えることはありません。

この突き出た下顎は何のためなのでしょう？ どう見てもアンバランスで、泳ぎにくそうです。表層の動物プランクトンを捕獲しやすくするためだともいわれていますが、本当のところはよく分からないようです。

サンマもくちばし状の口をしていますが、サヨリのように長く下顎が伸びるようなことはありません。でもよく見ると下顎が上顎よりやや突き出していて、同じ仲間だと分かります。ところで、サンマの下顎の先が黄色くなっているかどうか、おいしいサンマの見分け方ということをご存じでしたか？ 最近はなかなか手が出ない高級魚になってしまいましたが、ご存じでなかった方は、次にサンマをお買いもとの際は下顎の黄色をよく見て、ついでに下顎の方が突き出ていることを確認してみてください。

話をサヨリに戻します。サヨリもサンマに負けず食用として重要な魚です。旬は早春～春、半透明の美しい肉質で、寿司だねにも使われます。天ぷらや塩焼きにしてもたいへん美味しい魚です。うき釣りの対処魚としてもポピュラーな魚です。

河北潟とその下流の大野川からは、サヨリとその近縁種のクルマサヨリの生息が確認されていますが、もともと海産魚なので、サヨリは主に大野川にいて、河北潟にはあまり上がってこないようです。河北潟まで上がっていくのは主にクルマサヨリのようなようです。クルマサヨリは

純淡水域まで進入できるといわれています。河北潟で表層を泳いでいるのを時々見かけます。

サヨリには、サヨリヤドリムシという変わった生きものが寄生しています。白いダンゴムシのような体型をしています。実際ダンゴムシの仲間ですが、ウオノエ科という魚に寄生するグループの一員です。だいたい鰓の内側の片方が両方に1匹ずつ入っています。寄生されているサヨリは、鰓の空隙をほとんどこの寄生虫に占領されてしまいます。両側にいる場合は雌雄がついでいるようです。この場合、サヨリヤドリムシにとっては、サヨリが愛の巣になっているということですが、寄生されるサヨリにとっては、たまったものではありません。ほとんどの個体に寄生しているので、サヨリが河北潟の仲間なら、サヨリヤドリムシも河北潟の仲間ということになります。（文：高橋 久）